



今回の法人協だよりは
百姓錬磨の会特集です！

百姓錬磨の会リーダーが東京の就農セミナーで農業をPR

地方への移住や新規就農を希望する若者を対象とした就農セミナー『TURNS 就農カフェ』（主催：株式会社第一プログレス）が7月25日（土）に東京で開催され、若手法人就業者サークル『百姓錬磨の会』リーダーの仁多新太郎さん（農事組合法人ファームつるの里）がトークゲストとして参加しました。

仁多さんは、大学卒業後に環境循環型農業を展開する企業に就職した後、山口県の農業ガイダンスをきっかけに、ファームつるの里に就業。トークセッションでは、「学生時代から農業に関わってきたので、今やりたいことが実現でき、自らのやりがいにもつながっている。農業は、自然に向き合い、開放感があふれている。みなさんにもその良さを感じてほしい」と、農業の魅力をPRしました。

セミナーでは、全国各地から20名の若者が参加。『若手農業家にきく農業のミライ』をテーマにしたワークショップや意見交換会を通じて、田舎暮らしや就農に対する意欲を高めました。参加者から「地方に移住して一番大変だったことは何か」といった質問や、「若手農業者の話を聞き、農業に対するイメージが変わった」という声、また「移住したら、地域や人とのつながりを大切にしていきたい」との感想が聞かれました。

山口県の集落営農法人は、構成員の高齢化や後継者不足が大きな経営課題となっています。今回のイベント等を通じて、山口県の法人に一人でも多くの若者が就業していただけるよう、今後も新たな取り組みを進めていきたいと思っています。



山口県の農業や百姓錬磨の会について、参加者へPRする仁多さん



トークゲストとの意見交換会で、就農への不安解消に向け積極的に質問する参加者

J A青壮年部・就農支援塾生との交流会に参加しました

8月8日（土）に、JA防府とくち本所にて、百姓錬磨の会・山口県農協青壮年組織協議会・山口県立農業大学校就農支援塾生の3組織が参加し『やまぐち農民塾』が開かれました。

この農民塾は、将来の農業を担う若者が抱える悩みや課題の共有と仲間づくりを目的に開催され、総勢55名が参加。百姓錬磨の会からは3法人7名が参加しました。

農民塾では、各団体が自己紹介を行ったあと、『農業所得の増大』をテーマにしたグループワークを行い、地域における経営・就農の現状、営農する中での悩みや問題点などについて意見や解決策を出し合いました。

農業大学校の支援塾生からは、就農に向けての課題や不安の声も聞かれ、それに対して百姓錬磨の会員やJA青壮年部員から、アドバイスや情報提供が行われました。



和やかな雰囲気の中、意見交換をする参加者

参加者からは「先輩農業者の話は大変勉強になった」といった声や、「今後もこのような交流の機会があれば、ぜひ参加したい」といった感想が寄せられ、山口県の農業者同士でつながりを深めるための有意義な会となりました。

今後も法人協として、このような農業者同士が交流する場作りを積極的に図っていきたいと思います。

**法人間の絆を深めるため、
僕たちと活動しませんか？**

百姓錬磨の会 メンバー募集について

若手法人就業者サークル『百姓錬磨の会』は、県内の若手就業者の連携強化と資質向上を目的とした組織です。40歳以下の法人就業者で構成しており、現在は13法人22名のメンバーが活動しています。

サークルではともに活動する仲間を募集中です！

サークルの会費は無料です。40歳以下の若手就業者がいらっしゃる法人の方は、ぜひ県協議会事務局までお気軽にご連絡ください。

山口県集落営農法人連携協議会 事務局連絡先

【8/29（土）以降】 TEL：083-973-2247

※事務所移転のため、連絡先が変わります。

